

慣習的な産卵数推定法の検証~ヤナギムシガレイを例として~

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成松, 庸二 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012387

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



慣習的な産卵数推定法の検証

～ヤナギムシガレイを例として～

八 戸 支 所

研究の背景・目的

1. 資源分野において、卵の数は親の体重の関数として示されがち
2. 成熟年齢や体重あたりの卵数は変動することが知られている
3. そこで、実際に慣習的な方法と変動を考慮した方法で推定値を比較した

研究成果

1. 体重あたりの卵数は年齢によって異なることが示され、抱卵数を体重の関数で示すと誤差が生じることが示された
2. 資源の少ない時期には、多い時期に比べて成長が早く成熟年齢が低い傾向があった
3. 推定した卵数には最大25%もの差が生じていた

波及効果

1. 再生産関係を正確に推定可能
2. 適切な資源管理に寄与する

